

熱回収施設等の周辺施設整備基本構想(素案)

市民意見募集実施結果

1. 意見の募集期間

■ 2017年12月1日(金)～12月28日(木)

2. 意見の募集方法

■ 「広報まちだ2017年12月1日号」に概要を掲載

■ 2017年12月1日から「町田市ホームページ」に詳細を掲載

■ 以下の窓口にて資料を配布

環境政策課、市政情報課、広聴課(市庁舎)、男女平等センター(町田市民フォーラム)、生涯学習センター、各市立図書館(木曽山崎図書館及び堺図書館を除く)、各市民センター、各駅前連絡所、町田市民文学館、木曽山崎コミュニティセンター、玉川学園コミュニティセンター

3. 実施結果等

■ ご意見数：1団体、9名の方から14件のご意見をお寄せいただきました。

＜提出意見の内容＞

(1) ご意見の区分	a) 市民 9名	b) 団体 1団体
(2) ご意見提出手段	a) 文書 7通	b) FAX 3通

※お寄せいただいたご意見は取りまとめの都合上、要約して掲載しています。

＜「基本構想（素案）全体に関わるもの」＞

No	ご意見	市の考え方
1	熱回収施設等の周辺施設整備基本構想については、町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会やワークショップ、熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会で検討を進めてきましたが、一般の近隣住民にはほとんど知らされていません。今後は、住民説明会を開催し、意見交換を積極的に行い、住民にとって安心でより良い施設整備を進めてほしいと考えます。 また、今後処分場閉鎖に向けた手続きが進められる予定ですが、その経過について随時ホームページ上での情報公開を望みます。	基本構想策定後、市の広報、ホームページを通じて市民の皆様に当該構想の内容をお伝えします。 また今後、基本構想の内容については、町内会・自治会等からのご要望に応じて説明させていただきます。 市民の皆様に喜んでいただけるよう施設整備を進めてまいります。 なお、最終処分場閉鎖までの経過につきましては、市の広報、ホームページ等でお知らせいたします。
2	市民周知度はまだまだ低いと思われます。十分な広報・情報提供に努めてください。	

＜最終処分場等上部公園の整備に関する基本的な考え方について＞

No	ご意見	市の考え方
1	テニスの壁打ちの場所やバスケットボールのコートがない。スケートボードの練習場所も欲しい。 しっかりとした施設も考えてよいが、子どもが自主的に練習できる場所ができるとよいと思う。 今の公園は、ボール禁止だったり、スケートボード禁止だったり練習できる場所が少ないと思う。 隣の相模原市の公園に遊びに行くという現象も変な話で、町田で子供たちが遊べるようになればいいと思う。	先行して整備する池の辺地区には、1～2m程度の覆土があり、その下には廃棄物が埋められています。そのため上部の利用にあたっては、仮設トイレや低めのフェンスなど、埋められている廃棄物に影響を与えるおそれのないものに限られます。 池の辺地区には、バスケットボールコートの整備を計画しています。ご意見いただきましたテニスの壁打ちやスケートボードの練習場などについては、今後予定している峠谷地区の整備を検討する時点において、ご意見を参考にさせていただきます。

＜最終処分場等の再調査及び安全対策について＞

No	ご意見	市の考え方
1	町田市が行った最終処分場の調査結果は環境基準に適合しているとの見解ですが、町田の最終処分場に長く関わっていた専門家から「調査は不十分」という指摘がありました。 とくに旧埋立地は管理型最終処分場で	最終処分場（池の辺地区、峠谷地区）は、関係法令に基づいたモニタリングに加え、町田市廃棄物最終処分場周辺環境保全協議会で進めてきたモニタリングを継続して行うことで、安全性の確認をしております。

	はないので規制基準はなく、何が埋められているのかほとんどわかっていません。旧埋立地の複数のトレンチ調査の実施と、旧埋立地・池の辺・峠谷処分場のボーリング調査地点・モニタリング井戸を増加しての再調査を求めます。	旧埋立地については、2013（平成25）年度から2016（平成28）年度の期間で、ボーリング等の調査を実施いたしました。 調査の結果、ごみ自体から重金属等は未検出で、下流側の地下水からも重金属等の流出はなく、環境基準値以下であることを確認しております。したがって、現状通り駐車場や公園等での上部利用は可能であると判断しております。 今後も、旧埋立地上部の大気については年2回、地下水については年1回のモニタリングを実施し、安全性の確認をまいります。 なお、これらのモニタリング結果は町田市ホームページにてご覧になれます。
2	不均質な廃棄物地盤をマクロ的に把握するためには、ボーリング調査などの点情報に加えて、面的な広い範囲の情報を得るための調査を行う必要があります。 これまでの調査だけで最終判断を下さず、再調査によって十分な安全性を確認してください。	
3	最終処分場の安全性について十分調査願います。 旧埋立地のトレンチ調査、旧埋立地、池の辺、峠谷処分場の再調査を。	
4	市がこれまで行ってきた調査では問題なしとのことですが、専門家からは「調査は不十分」という指摘がありました。 近くに住む住民のひとりとしても、誰もがこの調査でOKと思える調査を行ってください。 長く様々なものが埋められてきた場所です。簡単な調査ではどう考えても不十分です。目に見えない化学物質は長い時間をかけて人体に少しずつ影響を与えます。 特に心配なのは子供たちへの健康被害です。近くには、小学校、中学校、保育園があります。多くの子ども達が集まる地域でもありますから、時間がかかってもしっかりと調査してください。	
5	旧埋立地と池の辺・峠谷地区はつながっているので、旧埋立地からの汚染は池の辺・峠谷地区にも及びます。 専門家からは、旧埋立地と池の辺・峠谷地区を切り離す「垂直遮水壁」という方法もあるという助言がありました。 旧埋立地からの被害が池の辺・峠谷地区に広がらないような対策を求めます。	
6	池の辺・峠谷地区とつながっている旧埋立地は、管理型ではないために何が埋まっているのかほとんど判っていません。旧埋立地の汚染が池の辺・峠谷地区に広がらないよう遮断する必要があります。その上で、旧埋立地の上部利用は中止してくださ	

	い。	
7	旧処分場と池の辺地区の間の遮断をお願いします。	

＜忠生地域・バリューアッププランの推進について＞

No	ご意見	市の考え方
1	私は、忠生地域の南側に40年も住んでいますが、地域の北部の市街化調整区域は、尾根緑道、緑地など自然環境が豊かですが、交通の利便が悪く、半日・1日を過ごせるような施設がないことなどから、魅力ある地域と感じません。 そんな気持ちでいる中、町田リサイクル文化センター建替えを機に、忠生地域・バリューアッププランが近隣の住民から発案され驚き、大変期待をしています。是非とも、かなえてください。	今回の基本構想の検討につきましては、ご意見をいただきました「忠生地域・バリューアッププラン」の趣旨を受け止めるとともに、2017年1月から3月にかけて開催した「町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ」の検討成果も踏まえて進めております。また、「町田市5ヵ年計画 17-21」に基づいて作成しています。 今後も市民の皆様にご喜んでもいただけるよう施設整備を進めてまいります。
2	町田警察署管内で死亡交通事故と特殊詐欺の件数などが都内全体でワースト記録をつくっていると聞きました。住民の一人としても大変深刻な状況と受け止めております。これらの事故や事件に巻き込まれないよう、市行政の予期予防する仕組みづくりも大切だと考えます。 その仕組みづくりの一つとして、今回の施設整備基本構想は、忠生地域・バリューアッププランに基づくものと聞いています。交通公園はじめ交通安全やコミュニティ交流・防災の機能の施設整備を早期に要望実現して、多くの町田市民に有効に利用してもらいたいと思います。今後の交通公園やその関連事業の運営などは、忠生地域という大きなフィールドを活かし、市行政と警察署などの関係機関が密に連携・協力して他市に負けない先進的なものにして、安心安全な町田にしてください。	峠谷地区及び旧埋立地の整備につきましては、町田市の2022年度以降の計画に位置付けるために、市として考え方を整理していきます。
3	忠生地域は、自然環境の保全と交通の利便性の確保・不足施設の整備など住民生活の両課題を抱えている。 これらの課題を解決すべく、住民側の忠生地域・バリューアッププランの要望は、期間を同じくする、多摩都市モノレール延伸、小田急多摩線延伸、リニア中央新幹線橋本駅開設の整備計画などとも連動するとともに、町田市にとっても、次期まちだ未来づくりプランを策定する貴重な礎となり	

	ます。今後も引続き、この整備基本構想だけにとどまらず、忠生地域・バリューアッププランの要望実現を確実にして頂きたい。	
4	町田市のまちづくりは、概して点的な施設整備が殆どで、面的な大きなまちづくりは忠生土地区画整理事業ぐらいで僅かです。 今回の構想策定の裏付けになっている忠生地域・バリューアッププランは、忠生地域全体のまちづくりの、住民側からの面的な大きなまちづくり整備構想の提案と理解しました。このバリューアッププランは、短期・中期・長期の整備に分かれ、市が抱える課題の解決策の提案があり、すばらしい発想プランだと思います。今後も、長期の整備までしっかり市が取り組むよう切にお願いします。	